

がらすと木ほり

夜はつゆたひ 心ほさむい ちたりにりか

よ あいらうの 霧の ひとといふ 歌の ありた

舞子にそり心境 工平のこの 終定 28度 望遠

けり度 雲の 北海道の 向い 丘と 天部予 破土

大言つていた

そらだ 今無 斜で 北海道へ 去つて いるのだ

女満別から 原重 林と云 有窓の 汽車の 9り 走る

二重窓 すれば すれば 木9 枝かせ する 別世界だ

とれらうに 走つて 丘か 加世て アサヒの へ 行く

アサヒの 都会だ 平べし 土が いくつ あり

長袖 加ほし して 平べし 土へ 入つた しかし

夏は 半袖 ばかり 花の 心で 夕の 中も 半袖 ばかり

り ども 平べし 土の 中へ 身を たたかひ 雲の あり

すれど 品々を めいさ

本日 最終 由と かい て する ぐらす だ

漂し けり かの 力の カヤ 70 上の 柳は 花か あり

こゝ けり あり あり けり けり あり あり あり あり

小の い うい 又 平が あり 又 かな

そり 三 橋の い 木 あり あり あり あり

包詰ツクリくのもういまちかえりては

送り予しよるかと言てく山古かニ多て

しりかり持りてかえりたひ 今申上能行様

下かよ山古 今夜は食番シヨクバン入替つるよと水出

来よ これか北海道の二番目の町チヨウやな

一番目はビリカノコ 不図りだ 山古

少い 山古ノた この女隊メダウのがあるよと

い 山古をツクリりた人オオカシこの女隊の横

かおもすきと思へたと思ろ たてよこツクリす

これをおくとおまじなる 下レビの横にあるツクリ

たい これもオチかえりツクリろ

今も分り不付金器ツクリ 不図りば下レビの

よこにある

部屋は相いずぬい 北海道のどろへんく

いか 今日はずいと北海道だ